

## 安全指針

国際化学オリンピックに参加するすべての生徒は、化学実験室で適切かつ安全に実験を行う方法に関する基礎知識を身につけている必要がある。

参加するすべての生徒は、関連する全ての規則と安全手順を認識し、自身の国の特定の安全規則を遵守する必要がある。実験試験中の安全手順に疑問がある場合、生徒は遠慮なく最寄りの監督者に指示を仰ぐこと。

準備問題の実験問題は、適切な設備の整った化学実験室で、メンターの監督のもとでのみ行うことを想定している。各国で規制が異なるため、安全や廃棄物に関する具体的かつ詳細な指示は含めていない。メンターは、必要に応じて問題を慎重に調整する必要がある。

使用する化学物質に関する GHS 危険有害性情報（H 則）は、問題中に示されている。その意味は以下の通りである：

### 物理的危険性

- H225 引火性の高い液体および蒸気
- H226 引火性の液体および蒸気
- H251 自己発熱； 火災のおそれ
- H272 火災助長のおそれ； 酸化性物質
- H290 金属腐食のおそれ

### 健康有害性

- H301 飲み込むと有毒
- H302 飲み込むと有害
- H303 飲み込むと有害のおそれ
- H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- H311 皮膚に接触すると有毒
- H312 皮膚に接触すると有害
- H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- H315 皮膚刺激

- H316 軽度の皮膚刺激
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H318 重篤な眼の損傷
- H319 眼への強い刺激
- H331 吸入すると有毒
- H332 吸入すると有害
- H333 吸入すると有害のおそれ
- H334 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
- H335 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 眠気やめまいのおそれ
- H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
- H350 発がんのおそれ
- H351 発がんのおそれの疑い
- H371 臓器の障害のおそれ